

# なごみや通信

第九号平成二十二年二月  
日本会議名古屋支部

天皇陛下におかれましては、御即位二十年をお迎えになりましたことを、心よりお祝い申し上げます。先月十二日、私は皇居前広場にて行われました、天皇陛下御即位二十年をお祝いする国民祭典に参列させていただきました。当日は天気も曇つており、気温もとても寒く、ガタガタと震えながら祭典の進行を見ておりましたが、熱のこもった和太鼓の演奏や陸海空自衛隊合同音楽隊の素晴らしい演奏を聴いているうちに、徐々に寒さを忘れ感動を覚えていきました。そして天皇皇后両陛下がお出ましになると、会場の空気が一気に変わったように思えました。陛下のお言葉を拝聴し、国民を思ってお気持ちちが本当にありがたく、日本人に生まれた喜びをかみしめたのを覚えています。また人気グループのEXILEが歌う奉祝曲の「太陽の花」は太陽神「天照大神」を連想させ、とても日本的だと思ひ、涙が出てきました。この日は全国各地から三万人もの国民が皇居前広場に集まり、何度も「天皇陛下万歳」と繰り返し、私も声が枯れるほど万歳を叫んでいました。三万人が掲げる日の丸と提灯の明かりが本当にきれいで、「ああ、日本人に生まれて本当によかった。」とこれほど強く思ったことはありません。この国民祭典に先立ち、十月二十八日から三十日までの三日間、愛知県護国神社にてみたま祭

りが行われ、私も微力ながら境内にて開催されておりました天皇陛下御即位二十年写真パネル展のお手伝いをさせていただきました。そしてこの三日間、戊辰戦争以来祖国のために尊い命を捧げた英霊に感謝申し上げ、今後の日本の発展を心から祈願いたしました。先の大東亜戦争においても、多くの人が「天皇陛下万歳、大日本帝国万歳」と言つて祖国のため、愛するもののため、子孫のために散つていったことに思いを致し、「日本を護つて下さつてありがとうございます」という気持ちからの参拝だったのですが、程なくして英霊のご加護をいただきました。私事で大変恐縮ですが、結婚四年目にして始めて子宝に恵まれたのです。これは、三日間のご奉仕をしたことによる英霊からのご褒美だと思わずにはいられません。日本は天皇陛下を中心とした神の国です。最近の出来事から私は「私たち日本人は、皇室と英霊に守られて生きているのだ」ということを強く実感しています。今後私は母となるわけですが、自分の子供に限らず、日本の子供たちにはこの国の文化伝統の奥深さや素晴らしさをきちんと伝え、日本人として誇りを持つて生きていけるよう一日本国民として微力ながら尽力していきたいと考えております。春日井市主婦 木原洋  
(御即位二十年奉祝式典・於：名古屋能楽堂・祝意表明より)

**愛知県護国神社清掃奉仕**・予定二月七日、三月七日、四月四日、五月二日、朝八時〜九時、軍手持参下さい、小雨決行、大雨中止。祖国繁栄の礎になられた英霊に心から感謝します。